医療法人社団 中川会 広報誌

あさがお通信

13号
令和元年６月１日発行

特集１　院内研修会「信友直子監督 講演会」…… 1
特集２　中川会幹部　座談会　中川会の役割と展望…… 2～4
久保施設長就任…… 5
医師紹介…… 5
中川会居宅介護支援事業所開設について…… 6
４月１日から人財育成課が誕生しました…… 6
CT 装置を更新 より速く、より優しい検査へ …… 7
地域連携室だより…… 7
講演会 呉市骨粗しょう症重症化予防プロジェクトの公開講座で講演いたしました … 8

中川会 理念 医療法人社団 中川会は医療と福祉を通じて職員全員で呉地域で一番の施設を目指します。
http://nakagawakai.jp/

特集1 呉中通病院 院内研修会「信友直子監督 講演会」

４月22日（月）呉を舞台にしたドキュメンタリー映画『ぼけますから、よろしくお願いします。』の信友直子監督による講演会を開催しました。

今話題の映画監督の講演会ということもあり、多くの職員の参加がありました。

講演会の中で、ドキュメンタリー映画『ぼけますから、よろしくお願いします。』はロードショー公開されているが、最初はホームビデオとして両親を撮影したことが始まりであり、両親の協力や色々な偶然が重なり奇跡的に完成した作品であることを聞くことが出来ました。

また、遠方の両親が介護サービスを利用するまでの葛藤、介護のプロである中央地域包括支援センターのケアマネージャーとの出会い、認知症の家族との関わり方の変化に関して様々な介護についてのお話を聞くことができ、大変興味深い講演会となりました。

最後に、「母が入院中に呉中通病院のスタッフに非常に良くしていただき、大変お世話になりました。」と感謝のお言葉を頂きました。

今回の講演会は新入職員の研修の一環として企画したものです。新入職員も大変感動し、認知症への理解を深めることが出来たようです。

特集2 中川会幹部　座談会

中川会の役割と展望

司　会　♠森光事務部長（呉中通病院）
出席者　♥森山看護部長兼地域連携室長（呉中通病院）
♣駄賀事務長（グリーン三条）
♦神垣看護師長（グリーン三条）

2020 年で創設 50 周年を迎える中川会。2019 年以降、さらなる質の向上を目指し、法人として力を入れ取組むべきこと、将来を見据えて新たに手掛けることはなにがあるか。

森光事務部長（呉中通病院）の司会のもと、森山看護部長兼地域連携室長（呉中通病院）、駄賀事務長（グリーン三条）、神垣看護師長（グリーン三条）の 4 名で、呉地域包括ケアシステムの中で中川会が担うべき役割と展望について語らいました。

中川会の課題

♠**森光**　呉中通病院は急性期･回復期･慢性期の機能を有しています。回復期の中でも特にリハビリテーション（以下、リハビリ）を強みとする病院で、セラピストは 70 名在籍（PT:43 名、OT:19 名、ST:8 名）してます。この数年で入院中のリハビリ提供量は充実したと実感しております。

♥**森山**　2 年前に発足した“リハビリみらいプロジェクト”（あさがお通信 12 号で掲載）により、随分とリハビリ医療の質が向上した実感はありますが、まだまだ検討すべき課題は多いですね。また、回復期リハビリテーション病棟は在宅復帰を目指す病棟のため、ほとんどの方は自宅等へ退院されます。しかし、当院からの退院後のフォローアップが全く出来ていないのが現状です。地域の介護サービス事業所の方々に支えられて今があるので、本当に感謝しかないですね。

♠**森光**　中川会は在宅介護サービスを有していないということもあり、退院後のフォローアップが重要と認識しつつも、積年の課題でした。2018 年 7 月から退院患者さまを対象に、外来リハビリを再開しましたが、まだまだ不十分ですね。

♥**森山**　退院 1 カ月後に ADL（日常生活動作）が下がるというデータを厚生労働省が提示していました。せっかく入院中に回復･再獲得した機能が低下してしまうのは率直に“悔しい”としか言いようがありません。やはり、回復期から維持期へ“シームレス”に橋渡しをすることが重要だと考えます。

♦**神垣**　退院支援を行う際、在宅復帰される方へ在宅介護サービスを調整する機会は多いですか？

♥**森山**　在宅復帰される方でも、やはりご高齢の方が多く、何かしらの不自由さをお持ちのため、在宅介護サービスを必要とされることが多いですね。

♠森光事務部長

♥森山看護部長兼地域連携室長

新規事業への期待

♣駄賀　在宅介護サービスの調整において、介護サービス事業所との情報共有は大きな課題ですよね。なかなか全ての情報を伝えきれないことが多いと感じます。

♥森山　ケアマネージャーと密な連携を図り、なるべく多くの情報を渡せるよう工夫をしていますが、それでも限界はありますね。

♠森光　中川会も 2019 年 4 月に呉中通病院内 1 階に「中川会居宅介護支援事業所」を開設しました。開設からまだ日は浅いですが、いかがですか？

♥森山　院内にケアマネージャーが居るというのは、思いのほか心強いですね。地域連携室の社会福祉士との情報共有も円滑で、なにより入院中の方の状態を毎日確認できるのは大きいと思います。

♦神垣　介護サービス事業所との情報共有も、今以上に円滑になりそうですね。

♠森光　居宅介護支援事業所の開設は、中川会にとって在宅介護サービスへの第一歩であり、呉地域のニーズに応えるための布石だと期待しております。

♥森山　2019 年 8 月に訪問リハビリテーション（以下、訪問リハビリ）も開始する予定ですよね。

♠森光　先程の退院後のフォローアップという意味でも、訪問リハビリは中川会にとって“欠けたピース”だったと思います。人的資源も充実し、ようやくなんとか開設までこぎつけたという感じですね。

♥森山　退院後のフォローアップに関わることで、退院後の生活が想像でき、生活に合わせた訓練や病棟環境を提供できるようになり、さらなるリハビリ医療の質向上に繋がりそうですね。

♠森光　呉中通病院の“めざすべき姿”にある「呉地域の急性期･回復期･維持期のリハビリを担う」に一歩近づいたと思います。

介護医療院への転換

♠森光　グリーン三条は、2018 年 2 月から介護医療院へ転換を検討していますよね。

♣駄賀　急性期から回復期を経て自宅に帰るのが理想ですが、難しい方もいらっしゃいます。そのような方をフォローする役割を担っていきたいと考えています。もともとグリーン三条はいわゆる“療養型”の病院だったため、受け皿としての機能もあり政策との兼ね合いで現行の介護療養型老人保健施設を選択した経緯があります。

♦神垣　老健本来の在り方・目的は、“介護療養型”といえども病院と住まいの中間施設であり、在宅復帰を目指すものですよね。実際に運営しながら矛盾を感じることは多々あります。

♣駄賀　2018 年介護保険法の改正により介護医療院が創設されました。これは、グリーン三条にとっても中川会にとっても適した形態の施設ではないかと考え、2019 年 10 月に介護医療院へ転換を目指すことになりました。

♣駄賀事務長

♦神垣看護師長

♠**森光**　現行の介護療養型老人保健施設から介護医療院へ転換するにあたり、サービス内容や特色、機能はどう変わるのですか？

◆**神垣**　まず、職員の意識を変える･変わる必要があると思います。病院から老健に転換しているため、今でも医療色が強く残っており、ハード面にしてもそう感じます。介護職は介護の専門職としてもっと成長してもらいたいし、看護師もこれまでの医療優先の看護ばかりではなく、生活する上でその人と向き合っていくには何をすべきかを考える必要があると思います。そして、最終的には“看取り”というものがありますよね。

♥**森山**　人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）はとても大切ですよね。

◆**神垣**　そうですね。最期はどういう生き方をするのか。看取りに対する意識を変えることは本当に大変だと思いますが、もう少し利用者さまにとって自由な最期があっても良いのではないかと思います。行きたいところがあれば行けば良いし、食べたいものがあれば食べれば良い。そういうところのお手伝いが出来るケアを提供したいと思っています。ただ施設として中央配管の吸引設備があるところは少ないので、それは存分に活用したいですね。

♣**駄賀**　職員の意識が変わると、サービスの内容も変わりますよね。ただ、なかなか人を教育するのは難しいのも理解できます。

♠**森光**　2019 年 4 月、中川会法人本部内に人財育成課を新設しました。10 月の転換に向けて色々な協力が出来ればと思います（今号 6 面を参照）。

10 年後の中川会

♠**森光**　めまぐるしく変化している医療・介護業界ですが、本質的な所は同じだと思います。皆さんは 10 年後の中川会をどのような組織・職場にしたいですか？

♣**駄賀**　10 年前と比べ、これだけ変わった介護業界ですから、施設形態などは全く想像つきませんが、職員が誇りを持って働いている職場にしたいと思います。

◆**神垣**　これまで無かった在宅部門を手がけ、地域医療の中心にあり、医療・福祉・保健すべてを統合し、中川会に任せれば大丈夫！といって頂けるような法人を目指したいですね。

♥**森山**　患者さまを引きつけ、職員を引きつける。そんな魅力あるアトラクティブカンパニーを目指したいと思います。

♠**森光**　サービス提供するにあたり、満足を超えた感動を与えるぐらい、サービスの質が上がっていれば良いと思います。

♠**森光**　より良い組織・職場をつくるには、たくさんの課題がありますが、より高い理想を目指して、日々の業務に取組み、頑張りましょう。本日はありがとうございました。

一　同　ありがとうございました。

グリーン三条
久保施設長就任

グリーン三条 施設長　**久保　雄治**

４月１日からグリーン三条の施設長となりました医師の久保雄治と申します。私は 35 年間、呉で開業医として地域医療に携わってまいりましたが、この度ご縁ありましてグリーン三条で勤務することとなりました。

これまで外科医として外来診療や訪問診療を中心に、呉地域の多くの患者さまを診てきましたが、施設入所者の診療、および介護というものについてはまだまだこれから勉強をしていく必要があると感じております。入所者の皆さまにとって安心のできる療養環境と快適な生活を提供できるよう、医師として、管理者として、職員と共により良い施設の運営を目指して頑張りたいと思っております。高齢化の進む呉地域において、皆さまから必要とされ愛される施設となれるよう邁進してまりますので何卒ご支援ください。

趣味はゴルフとウォーキングで体力には自信があります！

どうぞよろしくお願いいたします。

呉中通病院
医師紹介

呉中通病院 神経内科医　**有働　尚子**

皆様、初めまして！この春より呉中通病院の常勤医師として着任いたしました有働尚子（うどうなおこ）と申します。この呉中通病院に辿り着くまで、非常に長く遠い道のりを歩んできました。日本での研修医時代は精神科入局、しかしほとんどが救命救急センターでの仕事で、この経験からフランス・パリ大学へ留学し生粋の神経内科症候学を体得するべく単身渡航しました。その後、有給レジデントになり神経内科から脳外科に移り脳外科救急で飛び回っていました。さらにアメリカへわたり Mayo Clinic で神経病理学を経験して帰国しました。日本で妊娠出産のため高齢者専門の病院に勤務し、始めて目にした寝たきり状態の患者さんにショックを受け、この状態を治療しヒトとしての蘇りを果たす治療法の一つに辿り着きました。また一方ではパーキンソン病患者さんを中心とした音楽運動療法を創作し実践に漕ぎ着けました。しかしながら、数年前に度重なる大病に襲われ、1年間で８ヶ月間の入院生活を強いられました。病後療養のため南の島の療養所に勤務し、アッという間の５年間が経ちました。死の淵から生還した今、これらの長い旅が、あたかもここ呉中通病院に辿り着くためであったかのような心境です。初心に戻って新鮮な気持ちで患者さんを診させていただいています。初めての土地なのになぜか懐かしい『呉』の街です。ここでじっくり幼い日の夢を実践して、天国の育ての親である祖母と生みの親である母が、笑顔で『お疲れさん、良く頑張ったね。』と迎えてくれるその日まで、ここにしっかりと根を張って、生涯現役で医者という役を演じ切りたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

中川会居宅介護支援事業所開設について

中川会居宅介護支援事業所 所長　**中川　　学**
管理者　**羽田久美子**

この度、平成 31 年 4 月 1 日に居宅介護支援事業所を開設いたしました。

在宅福祉や地域包括ケアの重要性が叫ばれて久しくなりますが、当法人でもようやく在宅サービスに一歩足を踏み入れ、呉市民の為になりたいという思いで開設させて頂きました。

病気や怪我で介護が必要になっても、住み慣れた地域で家族や親しい人々と過ごす時間が持て、今までと変わらない生活を継続することを実現できる事が重要なことであると考えます。利用者さまは、誰一人として同じ人はいません。同じような身体機能（ADL）であっても、環境や考え方、今までの人生、すべてが違います。中川会居宅介護支援事業所として、利用者さま個々に寄り添い共に考え、生活がより良いものになるようお手伝いさせていただきます。

さらに、地域の皆様、関係各所の皆さまのご指導・ご鞭撻をいただき、地域に根付いた事業所を目指してまいります。よろしくお願いいたします。

４月１日から人財育成課が誕生しました

法人本部 人財育成課 課長　**平澤　知穂**

法人本部に４月１日から、各専門部署で地域から信頼され思いやりと誠実をもって仕事をしていく当法人の理念に根ざした人財を、計画的な教育研修を通じて育成していくために人財育成課が新設されました。

医療・福祉業界における多くの法人は、働く人の意識と職業活動に改革や向上あるいは、開発の必要性と危機意識をもちながらも、現場の仕事に追われ、このような職員人財育成に特化したセクションを持っている法人は希少です。そんな中、当法人では、呉一番の医療と福祉のサービスを提供し続けることができる人財育成に取り組むことを宣言しました。

理念とともにより質の高い医療と福祉のサービスを提供し続けていけるよう、現場の声を聞きながら研修や教育プログラムを計画的に実施していきます。

職員一同、常に磨きをかけて患者さまや利用者さまをお迎えしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

CT 装置を更新

より速く、より優しい検査へ

当院では、このゴールデンウイークを利用し、キヤノンメディカルシステムズ株式会社製の 80 列 CT 装置へ更新を行いました。

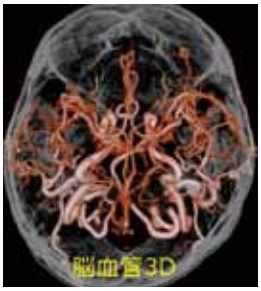
この装置の最大の特徴は、患者さまの負担が身体的にも精神的にも軽くなったことです。

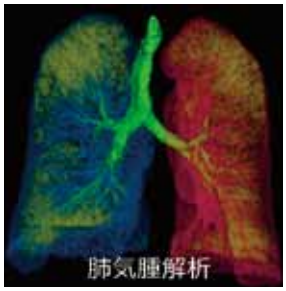
すべての画像を 0.5 mm幅で撮影するため、高精細であるのに加え、胸部撮影であれば、およそ4秒という短時間での撮影も可能となり、身体の動きによるブレが少なく鮮明な画像での撮影も可能となりました。

画像処理により金属アーチファクト軽減効果が得られ画像診断の質の向上や、低線量撮影においてもノイズを大幅に改善し、従来の装置と比べ最大約 75%の被ばく低減も実現しました。

更に、78 cmの大口径は体位の制限を受けにくくなり、より速く、より優しく検査を受けていただくことができるようになりました。

当院はこれからも患者さまの検査に対する精神的、身体的な負担の軽減に努め、より患者さま個人に適した検査を実施できるよう精進してまいります。（写真：CT 装置外観、画像例）





（呉中通病院　画像診断科 科長　日山　博則）

地域連携室だより

小野 地域連携室主任

３月１日から外来から異動して地域連携室に配属になりました。初めての経験が多く戸惑うことばかりですが、たくさんの方々に支えられながら日々頑張っています。一つ一つの出会い、経験を重ねながら成長していきたいと思っています。相談しやすい雰囲気を大切にして参りますのでこれからもご指導を宜しくお願いいたします。

三村 看護師長（一般病棟）

２年間という短い間でしたが、皆さん大変お世話になりました。地域連携室にただ一人の看護師で不安はありましたが、協力して下さった皆さんのお陰で何とか乗り切ることが出来ました。この経験を生かして今後に繋げていこうと思います。

地域連携室の更なる発展を期待し、地域の皆さまに感謝申し上げます。

講演会

呉市骨粗しょう症重症化予防プロジェクトの公開講座で講演いたしました

呉中通病院
副院長　中川　豪

平成31年2月2日（土）くれ絆ホールにおいて、介護関係者を対象とした「骨粗しょう症に着目した介護予防・重症化予防について」の公開講座が開催されました。

歯科口腔外科・薬局・整形外科のそれぞれの立場から介護の現場への提言を行うもので、整形外科医の観点から「介護に役立つ骨粗しょう症の知識」と題して、以下の４点についてお話させていただきました。

①骨粗鬆症は超高齢社会の中で高齢者本人のQOL、家族のQOL、地域社会の人的・経済的負担から大きな課題であること

②骨粗鬆症の治療は継続が肝心なこと

③骨粗鬆症治療の話は介護関係者にとって負担と捉える部分が多いこと

④薬剤の価格なども考慮した治療継続の必要性と可能性

また「介護に役立つ」と題した限りは、負担になるだけではなくメリットにも今後なりうる話として、骨粗鬆症による圧迫骨折予防の作業・動作の工夫は介護現場での腰痛予防になるため、介護する際の姿勢や力の入れ方なども整形外科医的視点から解説しました。講演後のアンケートでもほとんどの回答者から大変役に立ったと好評をいただきました。

私もこのような機会をいただいたことに感謝し、「呉市骨粗しょう症重症化予防プロジェクト」の一員として今後も呉市が健康寿命日本一になれるよう診療や社会活動で努力したい気持ちを新たにいたしました。

編集後記

『「カップメンがない。」「おっ、缶詰がなくなっとる」「いや、カップメンが○○兵衛に変わっとる」「もう入りきらんよ」「入りきらないなら食べてしまえ」』　・・・・　おっ、夢か。

昨年の西日本豪雨災害以来、我が家の備蓄品（非常食）は確実に増えている。

誰も意識したわけでもないのになぜか増えている。さらに、知らぬ間に定期的に入替作業も行われ、新しい備蓄品に自動更新されている。

中川会では事業継続計画（以下、BCP）の策定を、今年度の事業計画のひとつとしております。

BCP策定に向け、ようやく動き出しましたが、食糧備蓄ひとつとっても、3日分から5日に増量すべき、職員数も含めた備蓄量が必要など、意見が分かれています。

また、想定する災害規模により備蓄食料品、設置場所、治療食への対応が異なり、まるで正解のない答案用紙にひたすら記入する作業に似ています。

非常時にこそ、個人・組織の本当の姿が露になると言われます。平時の今だからこそ、BCP策定できるのだと自分に言い聞かせ、今後は、地域の中で災害時にどこまでやるのか、逆にどこまで出来るのかを検証し、中川会のBCP策定を進めていきますので、よろしくお願い致します。

（森光）

医療法人社団 中川会 **呉中通病院**
〒737-0046 呉市中通1丁目3番8号
〔JR呉駅より徒歩5分〕
TEL(0823)22-2510　FAX(0823)22-2514
http://nakagawakai.jp/

介護老人保健施設 **グリーン三条**
〒737-0821 呉市三条1丁目3番14号
〔JR呉駅より徒歩7分〕
TEL(0823)23-0303　FAX(0823)23-0642

2019. 6.1000